

# IMF サーベイ

IMF ワークプログラム

## IMF、安定性と成長の回復を目指す



イエメン・サナアの業者：IMF はアラブ諸国が経済移行を無事完了できるよう万全の支援にコミットしている（写真：Khaled Abdullah/Reuters）

IMF サーベイ・オンライン  
2012年6月9日

- IMF ワークプログラム、安定性と信認の回復、成長活性化、雇用創出が主軸
- 防火壁強化のための借入取極手続きの迅速な完了が不可欠
- 開発援助と保護バッファの再建による低所得国支援

世界経済が依然として脆弱であり、いくつかの局面でリスクが存在する中、国際通貨基金（IMF）は、自らのガバナンスの課題を進める一方、安定性と成長の回復に取り組むという今後半年間のワークプログラムを策定した。

IMF のワークプログラムに関する理事会の協議（半年ごとに実施）は、加盟 188 カ国を擁するこの国際機関の戦略的優先課題に的が絞られた。長引く危機の持続的な解決、そして今後の成長と安定に向けたより強固な基盤の構築に、IMF が果たす貢献には依然として大きな期待が寄せられている。

クリスティーヌ・ラガルド IMF 専務理事はワークプログラムを理事会に示すにあたり「IMF の財源を暫定的に 4,300 億ドル以上増強するというコミットメントは、危機の克服への断固たる行動を集合的にとろうとする加盟国の積極的な姿勢を示すものだといえよう」と語った。

IMF のオンラインニュース・マガジンである IMF サーベイは、今後 6 カ月間の IMF の目標について、シダート・ティワリ戦略政策審査局長に語ってもらった。この半年の間には、10 月に東京で IMF ・世界銀行年次総会も開催される。

**IMF サーベイ：**最近の情勢は、世界経済が引き続き脆弱であり、特に欧州を中心にシステミックな波及を伴うストレスの再発リスクが存在することを浮き彫りにしています。波及を阻止し、世界的回復を支えるための IMF の取り組みとはどのようなものですか。

**ティワリ：**IMF はいくつかの面で行動をとっています。危機の震源である[欧州](#)では、リスクの監視と金融機関の破たん処理に関する助言において、加盟国や汎欧州型の機関と積極的に協力しています。同時に、成長を支援しながら信頼に足る財政調整を達成する方策、雇用促進のための構造改革の規模、クロスボーダー型の銀行破たん処理メカニズムなどについての分析業務も進めています。

こうした課題は、欧州だけでなく、IMF の他の加盟国にとっても重要です。また危機に見舞われている国々では、適切に立案されたプログラムの実施が依然として不可欠です。さらに

IMFのコンディショナリティーの見直しに至るまでの、IMF理事会の今後の協議は、早期に教訓を引き出すのに役立つはずです。

欧州を超え、さらに幅広い加盟国が直面している極めて重要な課題があります。経済移行期にあるアラブ諸国の経済の安定化と変革を支援することもその一例です。

もう一つは、[包括的](#)な成長の根底にある要因を理解することです。就職先もない社会的公正性にも欠ける社会では、たとえ調整策やマクロ経済安定策が功を奏したとしても、たちまち逆行しかねません。我々の分析と政策助言は、一次産品価格と資本フローの激しい変動に対応する新興市場国と途上国を助けるものでなければなりません。また低所得国では、成長と開発の目標達成に努めながら政策上のバッファーを再建することにより、マクロ経済の安定性と債務の持続可能性を確保することが主な課題だといえるでしょう。

**IMF サーベイ：IMF加盟国は、迅速に対応し、IMFの緊急融資の財源を4,300億ドル拡充することにコミットしました。IMFはなぜこれほど多額の資金を必要とするのですか。**

ティワリ：専務理事が[行動計画](#)の中で指摘したように、[世界規模の防火壁](#)の強化は、波及リスクの抑止と安定性確保において、強固な政策や地域的防火壁と同様に重要となります。潜在的な資金ニーズは、活発な政策が取られているなかでも、世界的に高い水準にあります。

世界規模の防火壁の強化は、潜在的な資金ギャップを解消し、危機の第三者とも言える国々を保護し、ひいては信認回復の触媒となるためにも必要です。それにより、実際に資金を動員しなければならない可能性が低下するでしょう。

しかし、行動をとるチャンスは狭まっています。変動が激しく不安定な状況では、防火壁の強化のための借入取極のプロセスを迅速に完了させ承認することが不可欠となります。潜在的な資金ニーズに素早く対応できる能力がIMFにあるとする加盟国の信頼感こそ、かつてなく重要になっているのです。

**IMF サーベイ：金融部門の改革に多大な作業が費やされましたが、最近のニュースによると、銀行はいまだに巨額のリスクを積極的にとっています。金融部門改革というアジェンダの推進のためにIMFは何を行っていますか。**

ティワリ：金融の安定性確保は、バランスシートを修復して、ソブリン問題、金融ストレス、成長低迷という悪循環を断ち切ることに、金融部門の改革を行って、危機のリスクとコストを低減するという、IMFの当面の優先課題の解決に重要です。

今回のワークプログラムは、対応が急がれる金融機関のクロスボーダー型の破たん処理の形態や、金融部門のリスクのソブリン債の持続可能性への影響をはじめ、こうした分野での継続的取り組みを視野に入れています。

IMFの各国横断的な視点を活用して、金融機関の耐性を確立する上でカギとなる、ストレステストのベストプラクティスに関する評価作業や、[金融セクター評価プログラム](#)の横断的課題を把握する作業も進められています。

**IMF サーベイ：**経済移行期にあるアラブ諸国は深刻な経済問題に直面しています。中東・北アフリカでの変化を支援するために IMF は何を行っていますか。

ティワリ：アラブ諸国の経済移行は難しい外的環境の中で進められています。IMF は、必要に応じて政策助言や、技術支援、融資を提供することで、これら諸国が経済移行を成功裏に完了できるよう支援にコミットしています。

移行期にあるアラブ 6 カ国に対し、主に公共財政管理の課題を支援する 30 件以上の技術支援ミッションを実施しました。強固で透明な財政機構を構築するにはこうした課題がカギとなります。他の分野の技術支援としては、税制政策、より公正な税制のための租税管理、[補助金改革](#)、銀行監督、[統計](#)などが挙げられます。

包括的な成長という課題を推進するには、これらの分野全体で能力構築を行う必要があります。また、IMF は、2012 年 4 月に[ラピッド・クレジット・ファシリティ](#)という緊急融資ファシリティを発動して、[イエメン](#)への融資に関わってきたほか、他の数カ国でも協議を進めています。

**IMF サーベイ：**低所得国は世界経済危機の間でも比較的安定していました。これらの国を助けるために IMF は何をする予定ですか。

ティワリ：危機の前から堅牢なバッファー（財政収支の改善、公的債務の削減、外貨準備高の積み増し）を備えてきたことが、危機の間に低所得国が比較的安定していた鍵でした。

現在の課題はこれらのバッファーを再建することにあります。これにより、各国は成長と開発の目標を達成しつつ、マクロ経済の安定性と債務の持続可能性を確保することができます。

3 年前に実施した包括的な改革に続く、[低所得国](#)向けファシリティの来るべき見直しは、これまでに蓄積した経験を振り返り、ツールキットの鋭化が可能な点を判別するのに役立つはずで

です。専務理事は、2009 年の低所得国向け融資パッケージを完了することの重要性を強調しており、モメンタムを支えるためにも進捗状況を月に 2 回、報告書の中で追跡します。また、[貧困削減・成長トラスト](#)の長期的な持続可能性についても、これらのファシリティの見直しの結果に照らし、検証されることとなります。

**IMF サーベイ：**IMF は、自らのガバナンス改革に力を入れ、ダイナミックな新興市場国により多くの発言権を与えることにコミットしています。各国の代表権が変更されるのはいつ頃ですか。

ティワリ：2010 年[クォータ](#)・ガバナンス改革の実施に向け成果は上がっています。しかし、今秋東京で開かれる年次総会までの実施という目標を達成するには、特に理事会の改革案の承認など、さらに重大な手順を踏まなければなりません。

この実現に向け、加盟各国が構成する選出母体を含めて進捗状況の月間モニタリングを行うとともに、各国当局へのさらなる働きかけが行われるでしょう。

加盟国の代表権の正式な変更には、ガバナンス改革の承認（議決権の85%以上）が必要となります。そのためには、今から10月までに世界各国の議会で多大な努力が求められるでしょう。理論的には、理事会の構成を自発的に変えることで、新興市場国と途上国の議席数を増やすことも可能でしょう。

クォータ計算式の見直しでも成果を上げることが肝要で、そのために公式・非公式な理事会会合が予定されています。

さらにまた、[国際通貨金融委員会](#)の総務代理による献身的な作業も見逃せません。他のいくつかの課題に加え、進展を早めるために8月と9月にクォータ計算式の見直しという課題に取り組む予定です。